

## 5-8 コミュニティの形成によるまちづくり

### 地域防災力の向上と居住地魅力の向上

密集住宅市街地には、古くからの地域コミュニティが発達し、地域のつながりも強いことから、それを活かしたまちづくりを進めることが重要である。そのため、生野区南部地区でのまちづくり協議会活動やまちかど広場づくりでの経験等も活かし、地域の防災活動や福祉活動を担う地域住民やNPO団体等によるまちづくりへの支援を行う必要がある。

また、密集住宅市街地では、高齢化の進行が著しく、地域コミュニティが停滞傾向にあるため、若年層等の居住を促進することにより、再活性化を促し、地域住民等によるまちづくり活動の推進を図ることが必要である。

さらに、古くからの地域コミュニティや景観資源など、密集住宅市街地ならではの地域特性を活かした地域の魅力づくりについても検討する必要がある。

#### 地域防災力の向上

- ・地域の防災活動の推進やまちかど広場の整備等によって地域コミュニティの強化を図るとともに、まちづくり活動の活性化を図るため、地域防災リーダーの育成や自主防災組織の活動等に対する支援や情報を提供
- ・既存住宅等をコンバージョンし、地域における防災・福祉活動の拠点となる施設の設置等について検討
- ・地域との関係が強い区役所や各種地域団体、NPO団体等との連携によるまちづくりを推進

#### 地域特性を活かした地域の魅力づくり

- ・古くからの地域コミュニティや密集住宅市街地ならではの長屋や蔵、石畳等の景観資源を活かした魅力あるまちづくりへ展開

## 防災意識・知識の向上と地域のまちづくり活動の活性化

地域住民が自らの問題として安全で安心して暮らせるまちづくりを進めるためには、地域住民のニーズや意見をきめ細やかに把握し、地域住民の災害に対する知識や防災対策の必要性・緊急性の認識を高めていくことが必要である。

また、地域住民によるまちづくり活動の活性化を図るため、地域ごとのまちづくり活動実績を、「地域のがんばり度」として定期的に把握・公表し、更なるまちづくり活動の発展に向けそれらを活用する必要がある。

### 防災意識・知識の向上

- ・ 地域住民の防災意識・知識の向上を図るため、地域住民のニーズや意見を把握し、子供から高齢者までの幅広い層を対象に地域や学校と連携した普及啓発を実施するなど、多様な普及啓発策について検討
  - ・ 防災啓発リーフレットの作成（地震の怖さ、日常対策の必要性、災害が起こったときの対処方法、大災害にならないための事前対策について等）
  - ・ 危険情報の発信（地域防災マップ、延焼シミュレーションの公表等）
  - ・ 地域住民による自分の住んでいる地域のハザードマップの作成
  - ・ NPO団体等と連携し、区役所や小学校での防災訓練や区民まつり等における相談会の実施や起震車を用いるなど体験型の防災イベントの開催
  - ・ 市民全般にではなく小学生や高齢者など、ターゲットを絞った普及啓発方策の検討 等

### まちづくり活動の活性化

- ・ 建物等の実態調査で得られる評価指標ではなく、地域防災リーダーの防災啓発活動やまちかど広場におけるイベント回数など、地域のまちづくり活動等のソフト的な面から防災力の向上に対する評価を行い、それを公表することにより更なる地域の活性化・コミュニティ力を強化
- ・ 地域の防災性能を示す地区カルテを作成し、まちの課題認識を行うとともに、定期的に更新し、まちづくり活動を行う際の目標設定のための資料のひとつとして活用